

平成27年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」
最優秀賞・優秀賞を受賞した政策提案

最優秀賞

政策提案の名称	緊急課題！奈良の将来の医療をつくる多職種医療学生の集い。
在籍する大学等の名称	奈良県立医科大学
代表者の 学部・学科・学年 及び氏名	医学部医学科6年 峯 昌啓
政策提案の概要	<p>これからの日本は高齢者が最期をむかえるのに在宅医療の役割がますます重要になってくる。しかし現場では在宅をささえる医療者と介護職との間の連携がうまくとりづらい現状がある。</p> <p>将来の多職種間の連携を実践するために、県内の医療系学生、介護福祉系学生を大学横断的に集め、①同じテーブルで医療の問題を語りあいながら、お互いのバックグラウンドを理解しあう、②在宅医療のプロの声を聞き、在宅をキャリアパスとして考える、③国内外の人事交流を通して将来の医療を考えるうえでの知見を広げるような枠組みをつくる。</p>
「主な政策集」のうち 該当する政策課題	6 医療の充実 7 福祉の充実
政策提案の名称	女子大生ハンティングサークル(狩りガール)
在籍する大学等の名称	奈良女子大学
代表者の 学部・学科・学年 及び氏名	大学院人間文化研究科博士前期課程住環境学専攻1年 竹村 優希
政策提案の概要	<p>奈良県南部地域の狩猟産業振興を目指し、女子大生が狩猟に挑戦する。事業を通して県内の大学に通う若い女性が狩猟の基礎を学び、また南部地域の人々と交流を深めることで、地域の活性化にも取り組む。大きな目標は狩猟を女性の就労先に位置づけ、地場産業としての狩猟を次世代に継承していくことにあるが、ジビエのレシピ提案や地元食材を活用した地元宿泊施設の活性化、さらには地域の情報発信、狩猟マップの作成なども含めて、総合的に事業を推進していく。</p>
「主な政策集」のうち 該当する政策課題	2 地域で働く人づくり 3 観光の振興 10 文化の振興 16 南部地域・東部地域の振興 18 協働の推進 19 市町村への支援

優秀賞

政策提案の名称	不登校の子どもたちに大学生ができること～大学間の垣根を越えて～
在籍する大学等の名称	帝塚山大学
代表者の学部・学科・学年及び氏名	大学院心理科学研究科心理科学専攻2年生 酒井 希恵
政策提案の概要	<p>奈良県では、小中学校における不登校の割合が全国平均を上回る状態が続いている。本提案では、不登校を減らすために、学生ボランティアの効果的な活用を提言するものである。</p> <p>具体的には、各自治体と学生のニーズとをうまくマッチングさせる仕組みをつくり、研修会や大学の垣根を越えた交流会などを実施して優秀なボランティアの育成を目指す。そして、シンポジウムなどを通して、県民のボランティアについての関心を高めてもらう。</p>
「主な政策集」のうち該当する政策課題	<p>8 こども・女性支援の充実</p> <p>9 学びの支援</p> <p>18 協働の推進</p> <p>19 市町村への支援</p>
政策提案の名称	かえろうら！十津川～空き家のDIY改修&活用プロジェクト～
在籍する大学等の名称	奈良女子大学 奈良県立大学
代表者の学部・学科・学年及び氏名	奈良女子大学大学院人間文化研究科住環境学専攻1年 森 里沙
政策提案の概要	<p>奈良県南部地域は、急速な人口減少と空き家の増加という課題を抱えている。そこで本事業では、将来的な南部地域への移住促進を目指して、大学生を対象とした宿泊型のワークショップを提案する。空き家を対象とした「DIY体験」と南部地域での「農村暮らし体験」を組み合わせたWSを一年に数回行い、年間で一軒を目標として空き家を改修し活用することで交流人口の増加や住環境の改善をはかる。また、農村暮らし体験を通じて、将来的な移住者の獲得も目指す。</p>
「主な政策集」のうち該当する政策課題	<p>3 観光の振興</p> <p>9 学びの支援</p> <p>16 南部地域・東部地域の振興</p> <p>18 協働の推進</p>